

マンガの先祖を読む講座

古文書講座

古文書講座「マンガのご先祖・草双紙を読んでみよう！」が7月10日、岩瀬文庫で行われました。企画展「江戸きゃらくたあ図鑑」で出品されていた資料を実際に読む講座で、2回の開催で49人が参加。大きく描かれた絵に話し言葉の文章で書かれたマンガの先祖ともいわれる絵入り短編小説の草双紙のうち、大人向けの黄表紙を読みました。講師の学芸員がくずし字や単語の意味などを解説しながら読み進めていくと、ユーモアたっぷりの話に時折笑いも起きていました。



ヒメタイコウチも見つけたよ

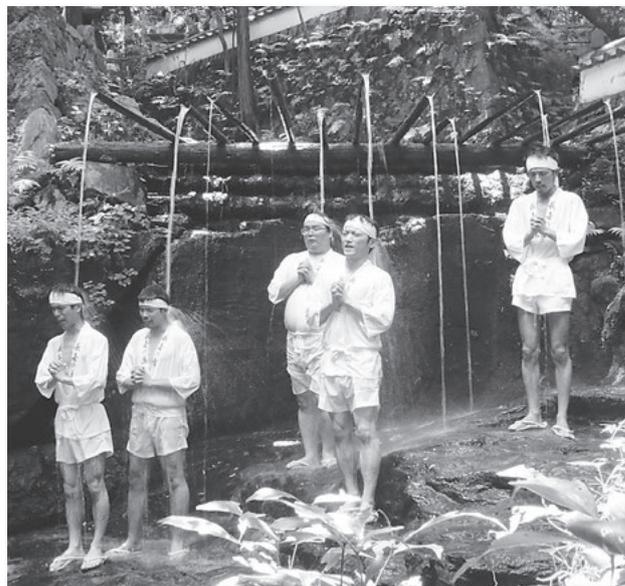
親子観察会 小川の生き物を探そう

「小川の生き物を探そう」をテーマとした親子観察会が6月19日、いきものふれあいの里で行われました。参加した親子11組は、県の天然記念物に指定されているヒメタイコウチをはじめ、トンボのヤゴやカワニナ、ヨシノボリ、サワガニなど、さまざまな種類の生き物を捕まえ、子どもと一緒に大人も童心に返って楽しんでいました。ネイチャーセンターに戻り、捕まえた生き物の名前や特徴などを講師から教わりながらじっくりと観察し、自然への理解を深めました。



滝に打たれて無病息災を願う

平原の滝開き



平原の滝開きが7月3日に平原の滝で行われ、市内外から多くの方が訪れました。最大の呼び物である水垢離では、白装束に身を包んだ13人の厄男たちが、滝水に打たれながら「はらえどのおおのかみ、はらいたまえ、きよめたまえ」と唱えて無病息災を願いました。平原の滝は別名「薬師の滝」とも呼ばれ、この滝の水を浴びればどんな病気も治ると伝えられています。会場では抹茶の接待、ところてんやスイカの振る舞いなども行われ、来場者は涼を楽しんでいました。

優雅なステップで楽しく踊る

エンジョイ！フラダンス



西野町ふれあいセンターで行われていた全6回のエンジョイ！フラダンス講座が、6月30日に最終回を迎えました。講師の指導の下、参加者は指先の形や腰の使い方など細部に注意を払いながらも、笑顔を絶やさず踊っていました。今回は初心者向けの講座でしたが、多くの参加者が今後も他のサークルなどでフラダンスを続けたいと話していました。



科学とものづくりを楽しもう

と しょかん科楽クラブ

小学1～3年生を対象とした「としょかん科楽クラブ」が6月12日、西尾市立図書館で行われました。始めに講師の科楽寺子屋の鈴木康三氏が、磁石やピンポン玉などを使って、身近な科学を楽しく説明しました。その後、子どもたちは自分たちの手でペーパークラフトのトンボを作成。やじろべえと同じ原理でバランスを取る指先のトンボに目を丸くしていました。お待ちかねの空気砲は大人気、打ち出される空気の渦に子どもたちは笑顔で飛び付いていました。



満開のあじさいと三河湾の大パノラマ

あ じさいフェスティバル



6月18日・19日に三ヶ根山スカイライン山頂駐車場で、あじさいフェスティバルが開催されました。梅雨の合間の貴重な晴天ということもあり、会場には大勢の人が訪れました。あじさいの苗木の無料配布は長蛇の列ができるほどの大盛況。訪れた人はどんな色のあじさいの花が咲くのか想像しながら、あじさいの苗木を選んでいました。和太鼓演奏やバルーンアートショー、大抽選会など、子どもも大人も楽しめるイベントが催され、会場は多くの人でにぎわいました。

十人十色の絵本を創作しました

ト ンネルえほんを作ろう

6月18日に岩瀬文庫で、アートでGOGO!～トンネルえほんを作ろう～が行われました。丸い穴があいた白い紙に色鉛筆で絵を描いて、穴の向こう側がどのようなかを想像しながら絵本を制作。講師と相談しながら、思い思いの物語を作り、オリジナルの絵本を創作しました。参加者は完成した絵本を友達や家族に笑顔で見せながら、楽しそうに物語の読み聞かせをしていました。それぞれが時間を掛けて作り上げた絵本は、自慢の一冊になりました。



お腹も心も満腹に

体 験なんでも屋 料理体験



6月25日に一色町公民館で、体験なんでも屋料理体験が行われました。今回のメニューは、初夏を感じることができる新生姜ごはんやサワラのおろし蒸し、焼きなすの味噌汁など。講師の指導を受けた参加者は、各班で協力しながら、普段の家庭料理にひと手間加えた料理を作りました。出来上がった料理をみんなで囲んで食べ、感想を語り合うなど楽しい時間を過ごしました。「また、家でも作りたい!」という声も聞こえ、充実した1日になりました。